

平成 30 年度 大岡公民館運営審議会（第 1 回） 開催概要

1 日 時 平成 30 年 6 月 8 日（金曜日） 午後 1 時から 2 時 10 分まで

2 場 所 大岡公民館 1 階 研修室

3 出席者 審議会委員 5 名
事務局 3 名
傍聴者 なし

4 審議事項

- (1) 平成 29 年度大岡公民館実績報告について
- (2) 平成 30 年度大岡公民館事業計画について

5 議事概要

- (1) 平成 29 年度大岡公民館実績報告について
事務局から、平成 29 年度大岡公民館実績報告を説明
- (2) 平成 30 年度大岡公民館事業計画について
事務局から、平成 30 年度大岡公民館事業計画を説明

これに対し、委員から以下の提案や意見が出された。

委員：指定管理などの問題はよく研究してからやってもらいたい。さて、来館者数は 28 年度 1 万 2 千人から 2 千人近く減った理由は。

事務局：グリーンツーリズムの利用が計上されないと大きい。公民館内で開会閉会式が行われないと人数にカウントされない。利用者数は公共施設マネジメントの重要な指標で、カウントされる方向で協力願いたい。

委員：グリーンツーリズムは学校の都合によるところが大きい。

委員：大岡音頭保存会が行っている甚句・音頭交流会はカウントされないので。

事務局：今は教室ではないからカウントされない。大岡音頭教室として一般から募集すればカウントされる。

委員：これだけ多数の事業をやるのは大変に思う。

事務局：新しい講座をすることでグループ、サークル化して自立につなげたい。リーダーを生み出す人づくりが公民館の目標だ。最終的には経済につなげたい。

委員：経済につなげるとは？

事務局：大豆島や沼津市大岡との交流を通じて物流が行き交う例がある。

委員：ハーバリウムとは？

- 事務局：ドライフラワー や ブリザードフラワーなどをオイルを詰めた瓶に入れて鑑賞するもので最近人気が出ている。すでに申込み定員を超えた。
- 委員：挿し木の講座は何をやるの。花木とか？
- 事務局：最初は初步からつきやすいサツキやドウダンツツジから始める。今後継続して開催し、レベルをあげサークル化を目指したい。
- 委員：春と秋の自然観察会を行うようだが、高齢者でも参加できるのか？ある程度対象年齢を分けて、若い人用と高齢者でも無理なくいけるコースを用意してもらえば参加しやすい。
- 事務局：今後は通信などを通じて年齢的なこともお知らせしたい。
- 委員：先日芦ノ戻の道祖神に元柔道日本代表選手の篠原さんがテレビ局の取材で訪れた。ゴボウジメをつくり渡すと喜ばれた。道祖神祭りに小中学生も訪れるようだが、トヨアシハラ神社にある道祖神記念館も訪問してもらいたい。長野五輪のメモリアルに作られた施設で、神社内にはケヤキのご神木もある。地域の学びの一つとして活用してほしい。
- 事務局：ぜひ検討したい。
- 委員：書道教室はやらないのか？
- 事務局：表札づくりの先生は書道も教えることができる。予算の関係もあり書道と表札の両方できる先生にお願いした。
- 委員：この先生は篆刻の先生ではないか。篆刻教室にしてはどうか。
- 事務局：まず初心者向けに「表札づくり」として参加しやすくした。
- 委員：最近書道の先生が大岡に引っ越してきたようだ。
- 委員：菊作り教室はやめたのか？
- 事務局：先生の申し出によりお休みした。
- 委員：大豆島から送られる巴錦はどうなるの？
- 事務局：まずは土づくりの講座から始めたい。講師を探している。
- 委員：そうだ、秋の落ち葉から土づくりを始めないと本物ではない。
- 委員：和室を避難施設にとはどういうこと。和室があるとは知らなかつた。
- 事務局：ステージの裏にある畳の部屋だ。正式な和室ではなく畳を置いてあるだけだ。このスペースを災害時に一時的に宿泊できるように整備したい。
- 委員：それはいい考えだ。消防や支所に連絡して活用できるようにしてほしい。
- 委員：計画した講座は大岡地区住民のための講座なのか？
- 事務局：長野市全部の皆さんに利用いただくことができる。
- 委員：道祖神の探訪なら大岡地区住民以外にも広く声をかけねばどうか。
- 委員：ホームページはどのように引くのか？
- 事務局：長野市のホームページから入る。「大岡公民館」でも出てくる。
- 委員：大岡で保育園がなくなつてから「親子わくわく教室」をやってもらい本当に良かった。信更地区でも同じ状態になりつつあり、大岡を参考にさせてほしいと言われている。